

かしま 議会だより

第62号

■発行 佐賀県鹿島市議会 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314
■編集 議会だより編集委員会 ■印刷 倉崎印刷

平成22年10月



市内循環バス出発式（鹿島バスセンター）



高津原のりあいタクシー

今回の記事・企画

会期日程・定例会議案と審議結果	2～3P
議案審議・報告	4P
報告・一般質問	5P
一般質問	6～8P
委員長報告・意見書	9P
議会基本条例	10P
議会改革・議長交際費	11P
議会あれこれ・編集後記	12P

9月定例会

平成22年 鹿島市議会

9月定例会会期日程

1.会期

自 平成22年9月2日
至 平成22年9月24日

2.日程

【9月】

2日・開会

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・議案の一括上程

3日・休会（議案研究）

（市長の提案理由説明）

4日・休会

5日・休会

6日・休会（議案研究）

・発言内容通告締切

（正午）

7日・休会（議案研究）

8日・休会（議案研究）

9日・議案審議

10日・休会（議案整理）

11日・休会

12日・休会

13日・決算審査特別委員会

（水道現地調査）

14日・決算審査特別委員会

（水道事業会計）

15日・休会（議案整理）

16日・一般質問（3名）

17日・一般質問（3名）

18日・休会

19日・休会

20日・休会

21日・一般質問（2名）

22日・休会（議案整理）

23日・休会

24日・委員長報告、議案審議

・質疑、討論、採決

・閉会

議案

(1) 報告第8号 専決処分事

項の報告について（事故

による損害の賠償）

(2) 報告第9号 専決処分事

項の報告について（事故

による損害の賠償）

(3) 報告第10号 平成21年度

鹿島市土地開発公社決算

について

(4) 議案第34号 平成21年度

鹿島市水道事業会計決算

認定について

(5) 議案第35号 平成22年度

鹿島市一般会計補正予算

（第3号）について

(6) 議案第36号 平成22年度

鹿島市公共下水道事業特

別会計補正予算（第2

号）について

(7) 議案第37号 平成22年度

鹿島市国民健康保険特

別会計補正予算（第2

号）について

(8) 議案第38号 平成21年度

鹿島市一般会計歳入歳

出決算認定について

(9) 議案第39号 平成21年度

鹿島市公共下水道下水

道事業特別会計歳入歳

出決算認定について

(10) 議案第40号 平成21年度

鹿島市谷田工場団地造

成・分譲事業特別会計歳

入歳出決算認定について

(11) 議案第41号 平成21年度

鹿島市国民健康保険特

別会計歳入歳出決算認

定について

(12) 議案第42号 平成21年度

鹿島市老人保健特別会

計歳入歳出決算認定に

ついて

(13) 議案第43号 平成21年度

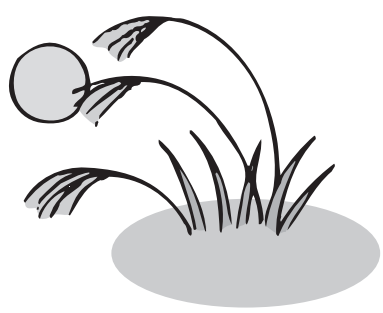
鹿島市後期高齢者医療

特別会計歳入歳出決算

について

(14) 議案第44号 平成21年度

鹿島市給与管理特別会



下表の議案を審議し決定しました

【9月定例会】

		松田 義太	松尾 勝利	松本 末治	光武 学	馬場 勉	森田 和章	徳村 博紀	福井 正	水頭 喜弘	橋川 宏彰	中西 裕司	谷口 良隆	小池 幸照	松尾 征子	中村 雄一郎	橋爪 敏	採 決 結 果	
議案第 34 号	平成21年度鹿島市水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	認 定
議案第 35 号	平成22年度鹿島市一般会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決
議案第 36 号	平成22年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決
議案第 37 号	平成22年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決
議案第 38 号	平成21年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会を設置し付託															議長		継続審査
議案第 39 号	平成21年度鹿島市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	〃															議長		継続審査
議案第 40 号	平成21年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計歳入歳出決算認定について	〃															議長		継続審査
議案第 41 号	平成21年度鹿島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	〃															議長		継続審査
議案第 42 号	平成21年度鹿島市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	〃															議長		継続審査
議案第 43 号	平成21年度鹿島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	〃															議長		継続審査
議案第 44 号	平成21年度鹿島市給与管理特別会計歳入歳出決算認定について	〃															議長		継続審査
議案第 45 号	鹿島市固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案同意
議案第 46 号	鹿島市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案同意
議員提案第1号	鹿島市議会基本条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決
意見書第3号	新たな経済対策を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席 除…除斥（監査委員のため審議に参加できない）

議案審議

議案第35号

平成22年度一般会計「第3号補正」

松田義太議員

【質問】 6月定例会でも同様の質問をしましたが、当初予算は、市長の改選期であったため、骨格予算で編成されていきました。新市長になり新たな予算を計上していく財源は、地方交付税より措置をするとの答弁でありましたが、今回の補正では、交付税より1億4千万円計上されています。今後、事業予算に補正をしていくための財源は、どのくらい確保をされているのか。

【答弁】 今後、肉付け予算をするための財源は、約2億4千万円確保してあります。

議案第38号

発注工事の予定価格と落札率について

谷口良隆議員

【質問】 平成21年度に発注された五百万円以上の事業の約三分の一が予定価格の80%台以下で落札され、40%、50%台での落札もみられる。

【答弁】 公共工事減少に伴う入札の過当競争が伺え、企業経営の悪化や倒産の背景の一つでもあろう。公正な入札結果を云々

するものではないが、予定価格の信頼性確保や、地元産業育成の観点から入札制度の検証も必要と思われるが、どうか。

【答弁】 指摘の件は、現在進めている7つのプロジェクトの課題の一つでもあり、検討結果を踏まえて必要な改善は行っていく。

議案第39号

21年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

水頭喜弘議員

【質問】 平成21年10月から大字納富分区での使用が可能になり、230.6haの整備が完了しております。下水道普及率は26.15%になっていますが、今後多額の一般会計からの繰り入れをしながら事業を続けていかれるのか、この件について

【答弁】 実施計画のヒアリングをおこなった中で、大字納富分以外の処理方法についてはできるだけ早い機会に検討をしていきたい。

「報告」市土地開発公社

公社の廃止意見に反対する

中西裕司議員

【質問】 現在の公社の実情だけで廃止せよとの意見に反対する。具体的な事業や予算規模の縮小での判断ではなく今までの公社の役割を重要視する事。浜川河川改修事業等の公共事業の先行土地取得や企業誘致時の予定地取得等役割は大きい。今後の

【答弁】 廃止はない。公社の機能を充分発揮できる環境づくりをする。



鹿島小学校2年生の議場見学

「報告」交通体系等特別委員会

市民の足をまもることは自治体の責任！

松尾征子議員

山鹿・朝倉・萩・美祢の4市を訪問。いずれも合併された街で、面積は

当しても、さらに路線を廃止、便を減らしての運営になってきている。

広くなっているが、高齢化と人口減は逃れられないものになっている。これまで走っていた路線バスの客は大幅に減り、自治体が補助金を出して運

続けられれば自治体は膨大な財政投入をしなければならぬ。合併前から福祉バス・スクールバス等無料で運行していた自治体もあった。

いずれの自治体でも利



一般質問

払いやすい国保税に

【答弁】 税率改正もある。



松尾征子議員

【質問】 税の引き下げが急

がれる国保世帯5337世帯、二百万円未満の世帯4199世帯その内の79%が滞納世帯692世帯、低所得者層の滞納が多いという現状をどうのうにとらえているのか。

【答弁】 世帯は現金収入が年々乏しく、納めたくても手元がない状況。また最近の不景気の中で失業者・リストラが月に30名から40名出ていることも国保会計をきびしくしている。

【質問】 バス路線のない地域にバスとタクシーが

走るようになった。すでに赤字や廃止路線の地域への復活もいそがれる。

【答弁】 運営は財政的にもすべて市の責任で市民の足を守る取り組みを（120億円の年間予算で1億2千万円使っている市もある。）

【答弁】 市でも赤字・廃止された路線に税金を年間2千万円使っている。実性運行の実施主体は任意の地域公共交通活性化協議会だが、会長は市長で鹿島市としても積極的



用者をいかに確保するかが、経営を続ける保証のようだ。訪問したいづれの市でも赤字になったからと料金値上げで市民に負担は掛けられないという。さらに市住民の足を守る事は自治体の責任だという基本がしっかりしている。勿論財政負担も含めてである。鹿島市においても今回路線のないところとバスとタクシーが走るようになった。さらに全体的な取り組みが進められなくてはいい。運営にあたっては財政的な問題も含めて、鹿島市が責任を持つように働きかけて行くことが我々委員会の任務であるという事を確認し合った。



一般質問

鹿島市の財政状況について



福井 正議員

【質問一】 平成21年まで3年間の経常収支比率、実質公債費比率等の財政指数は好転している。今後の鹿島市の財政の予測は。

【質問二】 今後西部広域環境組合で議論されている、ごみ処理施設建設及び運転経費負担金、公共下水道の建設中の納富分工区以降の建設、小中学校耐震補修や、民生費の増加等今後財政圧迫要因となりうる。10月1日から運行される、循環バスや乗合タクシーは交通弱者対策として国の補助金打ち切り後も運行 が必要だと思ふ。これらの事業についてどのように対処していくのか。

【答弁】 今後の財政は、投資的経費、政策的経費等に6〜7億程度予算化できると予測される。西部広域環境組合のごみ処理施設は、広域議会で議論されている状況であり、施設の型式など未定であるが、鹿島市の建設負担金は不明、運転経費負担は増加が予測される。公共下水道の納富分地区が以降の全体計画地区は、納富分地区完了する27年までに結論を出す。市民会館は、建設か改修、廃止などについて考えていく。市役所の空調機器は更新予定である。循環バス乗合タクシー利用状況が重要だ。



光武学議員

【質問一】 完成後の広域農道の利活用について。

【答弁一】 危険な場所には、カーブミラー、ガードレール、停止線を設置するように地元や警察と協議中です。多目的利

用については「観光」「体験農業」「宿泊」といったものを結びつけられないか考察中であり、地域振興につながる地元の方々とも協議中です。



タンク」機構を設置する考えはないか。

【答弁二】 7月に発足した鹿島市農業を考える会も、その一角と考えている。これから関係機関と協議していく。

国民健康保険事業について

国保財政の状況と見通しについて



水頭喜弘議員

【質問一】 国保会計の赤字は、その時々の加入者で解消すべきと述べられているが、市町村では厳しい中、将来は県単位にという議論もあっております。そこでお尋ねします。県の方とどのような話をされたのか、考え方は、広域化の取り組み等について市長の考えは。

【答弁一】 広域化については、一緒にいるときは損得は覚悟の上で広域化に進まれるかという内容の話があった。一緒になるときは他の町の赤字を負担することにはならない。含み損を持っていか

ないよう、できるだけ身綺麗にしていきたい。

7つのプロジェクトについて

【質問二】 6月4日からプロジェクトチームを発足された7つのプロジェクトについては8月17日にそれぞれのチームから中間報告を受けられているようですが、先日の答弁では9月議会に一定の方角を示していきたいと答弁されておりありますが、その進捗状況は。

【答弁二】 最終の報告書が今月いっぱい出来上がり、庁内での意思決定を図り実施に向けての具体的な取り組みをしていきたい。一部事業については12月当りに補正もあるのではと考えている。また第5次総合計画の実施計画への計上とか、23年度当初予算編成の中で具体的施策として提案して実行していく運びとなる。

人口減少への対応を



中村雄二郎議員

【質問一】 第5次総合計画における人口予測は三万二千人口減少が進み全国的に人口減少するなかで、定住促進等の施策に取り組みとしても可能なのか。過剰な投資にならないよう、人口減少を前提とした計画づくりも視野にはいれるべきではないか。また、四次計画との大きな違いは何か。

【答弁一】 定住促進等の施策の実現の期待を盛り込んでいる。総合計画の人口スキームはそんな性格である。五次計画は市民にわかりやすくするため、平易な表現や数値目標を導入するつもりだ。人口など情勢変化への対応を考え期間も五年間とした。

景観法への取り組み

【質問二】 五次総合計画のアンケート結果を見れば鹿島市の良い所は自然が豊かが圧倒的に多い。市長は自然、歴史、文化を大切にしたいまちづくりを提唱しておられるが、景観に対する記述がない。自然やまちなみ、文化的景観保存には景観法が効果的と考えるが市長の考えは。

【答弁二】 景観法の考え方は否定しないが、先にルールから入るのはどうかと思う。規制も必要となるので市民の議論による盛り上がりも大切である。

市政の「新生」について



中西裕司議員

樋口市長就任百二十八日。「もう」か「まだ」か。否定か肯定か。市民との対話で心良い「風」を感じ市政の新生を目指す。全国知事会政権公約評価特別委員長古川知事は時の代表選の候補者に地方改革ないし地域主権について公開質問状を提出された。

【質問一】 地域主権について国と地方のあり方が変わるが所感をいただきたい。

【答弁一】 地方自治法の改正等でまだ見通しがない。今後協議されるのでは。

【質問二】 行財政改革の中で財源をどう確保するのか。景気動向で税収増は見込めない。収入増の努力は、第3者の助成金等活用すべき。陸上競技場



第13回 かしま伝承芸能フェスティバル

一般質問

鹿島市が直面するまちづくりの課題と優先的な政策の具体化について



松田 義太 議員

道路整備と利活用のあり方について

（質問）市長は、6月定例会の施政方針表明の中で、「県南西部の拠点都市として機能充実を図るため、利便性の高い道路整備を重視、国道バイパス沿線開発や有明海沿岸道路の建設を推進する」と述べられました。バイパス沿線、旧道との内側をどのように土地利用していくのか、未だに具体策が見えないので、まず基本的な方針と、具体的な施策を示す必要があるのではないかと思います。都市計画を見直し、

子育てにやさしい魅力あるまちづくりについて

（質問）佐賀新聞に掲載された、ボランティア団体である『鹿島おもちゃ図書館コスモス文庫』が実施されます『ひまわりスクール』は、障がい児の子供たちが、学校のないうつ休みに生活リズムが狂いがちなため、勉強の

企業誘致、住宅開発、物産直売所など、地域の活性化、定住に貢献できる施策を多くの市民は望んでいると思いますが、方針を伺いたいと思います。

（答弁）佐賀県との協議の中では、この地域は、優良農地であり、又、都市計画区域内に約80ha残っており、人口フレーム（人口増が見込めない）においても、バイパスの沿線上の用途地域の見直し、拡大は難しい状況。

（質問）佐賀新聞に掲載された、ボランティア団体である『鹿島おもちゃ図書館コスモス文庫』が実施されます『ひまわりスクール』は、障がい児の子供たちが、学校のないうつ休みに生活リズムが狂いがちなため、勉強の

習慣づけを図ったり、親子のふれあい、親同士の情報交換をされていると思うのですが、この運営について、福祉事務所が何か支援をされておられるのかお伺い致します。佐賀市においては、このような団体に運営補助されていますが、今後検討していただけないでしょうか。

（答弁）福祉会館2階にあります会議室を開放したり、場所の提供を行っています。又、運営補助については、厳しい財政状況下にありますので、今後の検討課題とさせていただきます。

鹿島の特産品づくり



松本 末治 議員

「宝の海を返せ」

「国は開門調査を先送りするな」有明海特産の海苔生産が危機にある諫早湾干拓調整池の排水対応を早急に実施すべきだと考えるが、又、米の特産品づくりは。鹿島には美

味しい銘酒があり、鹿島の銘酒は、鹿島産米100%で生産出来ないものか？

（答弁）諫早湾干拓の排水については有明海再生の為に開門調査を早急に行うよう他関係機関と共に要請を行っていきたい。酒米については市内6酒造会社で利用され作付けは面積15haで60tの鹿島産米「山田錦」が利用されている。

（質問）プロジェクトで「みかん」の品質向上と加工による高付加価値化があります。果樹で「品種に勝る技術無し」の諺がある。七浦支所農業振興大会で「七浦産南津海（なつみ）」糖度15度と高品質だが、熟期が4、5月と極めて遅く「周回遅れのトップランナー」と鳥獣（ヒヨ鳥・猪）の被害を受け易い、これらの対応についてお尋ねします。

（答弁）糖度15度と高品質で、4・5月と競合が無く有望品種として、県JAの関係機関と連携をとり「なつみ」の推進を図りたい。鳥獣対策は防鳥ネット施設補助事業、電気牧柵やワイヤーメッシュ設置総合対策事業での対応を図る。



平成21年度鹿島市水道事業

会計決算認定について

委員長 小池 幸照

去る本会議で付託を受けた、議案34号について、正副議長・監査委員を除く13名の議員で、9月13日・14日の二日間に渡り慎重に審査を行いましたので、その経過及び結果について報告を致します。

日程第一は、配水管布設替工事や浄水池改修工事を初め、水道庁舎監視装置更新工事、取水ポンプ取替工事の説明と現地調査を行いました。

日程第二は、植松監査委員より、決算審査に基づく監査報告があり、経営成績及び財政状況の計数に間違いはなかった。今後の課題として、大規模な設備投資や布設替や水源池、配水池等整備が必要となった場合、財源を企業債に依存せざる得ない状況であるし、ダム使用権関係の建設仮勘定

（約30億円）が本勘定以降した場合、費用が増大し水道料金のアップは避けて通れない。市民に水道事業に対して認識を深めてもらうためにも、対処の方法等早期に検討し、理解を求めるようにとの報告がありました。

その後質疑応答に入り、水道料金の細かな料金設定や地盤沈下の状況、企業債の借り替えや繰上償還未収金対策と不能欠損について、給水区域の拡大に伴う簡易水道組合との協議等20数項目に渡る質疑、要望等が出され、採決の結果賛成全員で原案のとおり認定すべきと決しました。

新たな経済対策を求める意見書

意見書第3号

今般の急速な株価下落と円高は地域経済に深刻な打撃を与えている。特に 地域経済は平成21年度新たな補正予算が組まれたが、今年度の公共事業予算も対前年度比マイナス18%となるなど、大幅な予算削減による地域経済の弱体化は顕在化している。

しかしながら、政府は平成 23 年度予算について、各省の予算を一律 1 割削減の方針を打ち出していることから、公共事業予算が来年度以降も削減されるのではないかと、いった懸念がある。

国土交通省の来年度予算概算要求は今年度と同額の予算要求をしているが、深刻な不況に苦む地域経済・雇用を守るためには、これ以上の削減は到底認められるものではない。むしろ深刻な不況から一刻も早く抜け出すために、即効性のある事業を前倒しで行うなど、景気を刺激する政策を速やかに打ち出すべきである。

よって国会及び政府においては地域経済の活性化に向けて以下の政策を速やかに実行するよう求める。

- デフレ脱却に向けて政府が毅然たる意志を示し、日本銀行との適切かつ強固な協力体制を構築すること。
- スクールニューディール、地域医療などの事業に集中的に投資し、企業による雇用や設備投資を促進すること。
- 来年度予算における公共事業費を維持・拡充し、地域経済・雇用の下支えをすること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成22年9月24日

佐賀県鹿島市議会

衆議院議長	横路孝弘様	経済産業大臣	大畠章宏様
参議院議長	西岡武夫様	国土交通大臣	馬淵澄夫様
内閣総理大臣	菅直人様	国家戦略担当大臣	玄葉光一郎様
財務大臣	野田佳彦様	内閣官房長官	仙谷由人様

一般質問の日程を変更

鹿島市議会は、この9月定例会から一般質問の日程を繰り下げて実施することに変更致しました。



その理由は、市長が開会冒頭に行う「提案理由説明」（演告）についても質問の対象として取り上げることが可能とするためです。

これまでは定例議会の開会日前までに質問通告が締め切られていたために、市長の演告を質す機会を逸していました。

今回の日程繰り下げによって、当面の市政方針についても充実した議論が期待されることとなります。

鹿島市議会改革

平成22年度 佐賀県市議会議長会議員研修会



平成22年8月3日（火）佐賀市のマリトピアにて開催される。講師は政治評論でおなじみの福岡政行氏（白鷗大学教授）が「議会改革と日本の明日」と言う演題で、今の政治状況と将来を多方面から鋭く分析し論評してもらいました。

公表します、議長交際費

金額単位:円

	7月		8月		9月		合計	
区分	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔意			3	9,000			3	9,000
見舞い								
祝儀	1	5,000					1	5,000
会費	1	3,000	2	7,000			3	10,000
接遇								
その他			1	1,400	1	4,200	2	5,600
合計	2	8,000	6	17,400	1	4,200	9	29,600

訂正

第61号、松尾征子議員の一般質問記事の中で、「年収」を「年間所得」に訂正致します。

議会基本条例を制定しました

鹿島市議会はこの二年余の調査・研究を経て、鹿島市議会基本条例を制定しました。この9月定例会で全議員が提案者となって可決したもので、10月1日から施行します。

鹿島市議会は、これまで市民に開かれ、市政進展に機能的な議会運営を図るために改革を進めて参りましたが、市民の多様なニーズと、「地方分権一括法」の施行を契機とした地方制度改革の急速な変化に対応していくためにこの条例を制定したものです

鹿島市議会の議会基本条例の概要

鹿島市議会が議会基本条例を制定した狙いと特徴は、次の通りです。（同条例の骨子）

- 1、この条例は、これからの議会運営に関する最高規範と位置付けました。
この位置付けにより、本条例に抵触する鹿島市議会における規則、要綱は制定することが出来なくなります。
- 2、条例化に伴って、住民による条例の改廃を求める請求権が発生します。
それによって、地方政治の間接民主主義を更に熟成させ、市民の政治参加の醸成と共に、今後の自治の進展に大きな意義を与えていくものと考えます。
- 3、条例の特色および要点。

第1章「基本理念と基本方針」

地方自治は二元代表制のもと、その一翼である議会は分権時代を迎え、「市民が主役」の議会を一層推進させると共に、市民への説明責任・情報公開・市民が参加しやすい議会運営を目指すことを定めております。

また、本来の機能である事務執行の監視と評価、議会としての執行機関に対する政策提言・立案などを唱っております。

第2章「議会及び、議員の活動原則」

議会は、議員、市長、市民等と自由な議論が行われる場との基本認識で、議決機関としての機能を十分発揮させること等を唱っております。

第3章「市民との関係」

本会議の他、常任委員会等の各委員会も原則公開で行うこととし、更に開かれた議会を目指すと共に、「参考人制度」や「公聴会制度」を十分に活用して各種政策の充実を図ることとしています。

原則年1回以上の市民への報告会を実施することも決めました。

第4章「市長等、執行機関との関係」

議会は、常に執行機関との緊張関係を保持し、市民の負託であるチェック機能を遺憾なく発揮すると共に、政策の立案、政策提言能力を強化することとしています。

また、本会議の他、常任委員会等に於いても、議論の水準を高めるために、議長または委員長長の許可を得て、執行部側から議会側に対して、質疑内容等の確認に関する質問をすることが出来ることにしています。

第5章「議会の権能強化」

会派間の合意形成の努力、議会改革の継続的取り組み、専門知識の向上、議会図書室の充実と利用の市民への開放、議会事務局機能の充実・強化、政治倫理の向上などについて唱っております。

第6章「政治倫理」

議員の職責、品位、識見の向上について唱っています。

第7章「見直し手続き」

この条例は、主権者である市民の、市民による、市民のための議会であるかを不断に検証・実践するためのツールと位置付け、時代の要請に的確に応えるために適宜見直していくことを唱っています。

（この条例は、鹿島市議会のホームページに全文を掲載しています。）

議会あれこれ (平成22年7月～9月)

- | | |
|---|--|
| 【7月】 | 27日 杵藤地区広域市町村圏組合議会8月定例会 |
| 8日 議会だより編集委員会 | 30日 佐賀県西部広域環境組合第2回議員協議会 |
| 15日 全員協議会 | 31日 議会運営委員会 |
| 16日 佐賀県西部広域環境組合構成市町長
及び議会議員セメント原料化施設視察 | 【9月】 |
| 20日 佐賀県市議会議長会先進都市視察研修
(22日迄) | 2日 9月定例会 開会
全員協議会 |
| 21日 交通体系等特別委員会行政視察(23日迄) | 9日 議案審議
議会運営委員会 |
| 27日 平成22年度知事・市町議会議長懇話会 | 13日 決算審査特別委員会(水道事業会計)現地視察 |
| 28日 議会運営委員会 | 14日 決算審査特別委員会(水道事業会計)審査 |
| 【8月】 | 15日 議会運営委員会 |
| 3日 佐賀県市議会議長会議員研修会、交流会 | 16日 9月定例会一般質問 |
| 4日 議会運営委員会 | 17日 9月定例会一般質問 |
| 10日 全員協議会
総務建設環境委員協議会 | 21日 9月定例会一般質問
全員協議会 |
| 17日 議会運営委員会
杵藤地区広域市町村圏組合議会事前勉強会 | 24日 全員協議会
9月定例会議案審議
・委員長報告・討論・採決・閉会
全員協議会 |
| 23日 交通体系等特別委員会
交通体系等特別委員会と市長との意見交換会 | 29日 栃木県矢板市議会行政視察
議会だより編集委員会 |
| 24日 総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会 | 30日 佐賀県西部広域環境組合第4回全員協議会 |
| 25日 全員協議会 | |
| 26日 鹿島・藤津地区衛生施設組合議会定例会 | |

平成22年9月24日の鹿島市議会9月定例会において、鹿島市固定資産評価審査委員会委員に堀政海氏が選任され、鹿島市教育委員会委員に藤家恒善氏が任命されました。

編集後記

猛暑続きの夏も過ぎ、秋祭りの季節を迎えました。

しかし、政治の混乱が多く取り沙汰され、経済や雇用の問題を早急に何とかしてくれと言う国民の声もなかなか届かない政府の体たらくがマスコミを賑わせている今、鹿島においてやつと10月1日より「市内循環バス」と「高津原のりあいタクシー」が試験運行されることになりました。市民の皆様が大いに利用してもらい、意見を寄せていただきたいと思います。

鹿島市議会もこの9月議会において市民の皆様とより以上に向き合い、この鹿島を良くするために「鹿島市議会基本条例」を議員提案し、制定しました。私たち議員一同「報告会」等の実施に向け頑張りますので市民の皆様のご協力をお願い致します。詳しくは市のホームページ等でご覧戴けると思いますので、ご不明の点がありましたらお問い合わせ頂きます様よろしく申し上げます。

【編集委員】

委員長 馬場 勉
副委員長 松尾 勝利
委員 松尾 征子
橋川 宏彰

*この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。